

『ユニオンファンド』

商品分類（追加型投信／内外／株式）

交付運用報告書

第7期（決算日2015年9月30日）

作成対象期間：2014年10月1日～2015年9月30日

第7期末（2015年9月30日）	
基準価額	19,779円
純資産総額	3,492百万円
第7期（2014年10月1日～2015年9月30日）	
騰落率	△2.5%
分配金合計	0円

※基準価額は、1万口当たりで表示しています。

※純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

※騰落率は、小数点以下第2位四捨五入で表示しています。

- ◎ 交付運用報告書は、運用報告書（全体版）に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。
2014年12月の「投資信託及び投資法人に関する法律」の改正により、従来の運用報告書に代えて、交付運用報告書を交付します。
- ◎ 当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めています。運用報告書（全体版）は、下記のホームページの「運用状況」から閲覧およびダウンロードすることができます。
- ◎ 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を請求される方は、下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

本書の記載内容等に関するお問い合わせ先

ユニオン投信株式会社 業務管理部

電話番号：0263-38-0725

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：<http://www.unionam.co.jp/>

受益者のみなさまへ…

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、『ユニオンファンド』は、2015年9月30日に第7期の決算を行いました。

当ファンドは、個人家計の「資産形成」を支援する目的で、「期待収益率が高い」と思われる資産への積極投資を通じて、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

ここに期中の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



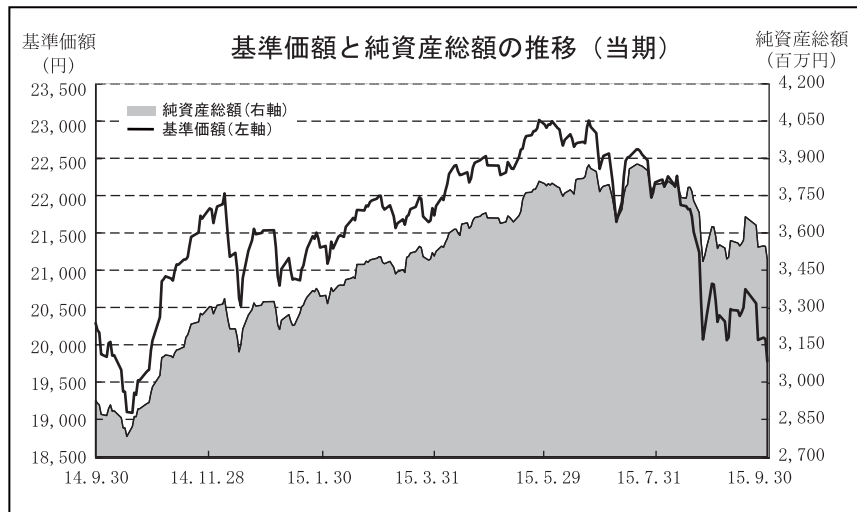
Union Asset Management Inc.
ユニオン投信株式会社

〒390-0815

長野県松本市深志一丁目1番21号
中田歯科ビル5F

運用経過

■基準価額等の推移（2014年9月30日～2015年9月30日）



第7期首：20,291円

第7期末：19,779円

（既払分配金：0円）

騰落率：△2.5%

（注1）当ファンドは、主に国内外の株式に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。

（注2）当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。基準価額がファンド運用の実質的なパフォーマンスを示しています。

（注3）騰落率は、小数点以下第2位四捨五入で表示しています。

■基準価額の主な変動要因（第7期：2014年10月1日～2015年9月30日）

当期は「新興国」市場の株式が他市場に比べ大きく下落しました。

当ファンドは「新興国」市場に多めの組入れを行っていることから、相対的パフォーマンスがやや劣後しました。

■ 1 万口当たりの費用明細（第 7 期：2014 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日）

項目	当期		項目の概要
	金額（円）	比率（％）	
(a) 信託報酬	187	0.864	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は、21,593円です。
（委託会社）	(117)	(0.540)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(63)	(0.292)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.032)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
合計	187	0.864	

- (注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期間における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、「組入ファンドの概要」に表示しています。
- (注 3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。
- (注 4) 比率は、1 万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額（各月末の基準価額の単純平均）で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第 4 位四捨五入で表示しています。

■最近 5 年間の基準価額等の推移（2010年9月30日～2015年9月30日）



	2010年9月30日 決算日	2011年9月30日 決算日	2012年10月1日 決算日	2013年9月30日 決算日	2014年9月30日 決算日	2015年9月30日 決算日
基準価額 (円)	13,160	11,038	12,529	17,852	20,291	19,779
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△16.1	13.5	42.5	13.7	△2.5
純資産総額 (百万円)	865	972	1,391	2,193	2,926	3,492

(注1) 比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数也没有ありません。

(注2) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。

(注3) 騰落率は小数点以下第2位四捨五入で、純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

■投資環境（第7期：2014年10月1日～2015年9月30日）

当期も世界的な超金融緩和が株式市場を支えました。

しかし、①原油価格が半値以下にまで暴落したこと、②ギリシャのユーロ離脱問題が再燃したこと、③米国の企業業績がドル高・原油安などにより低迷したこと、④中国の不動産・株式バブルが崩壊し景気減速が鮮明化したこと、などの悪材料が重くのしかかりました。

このため、2015年8月以降世界同時株安が続きました。

■ポートフォリオ

当期の運用実績は2.5%のマイナスとなりました。

各市場の当期収益率は次のとおりです。

(ユニオンファンドでは為替ヘッジをしていません。)

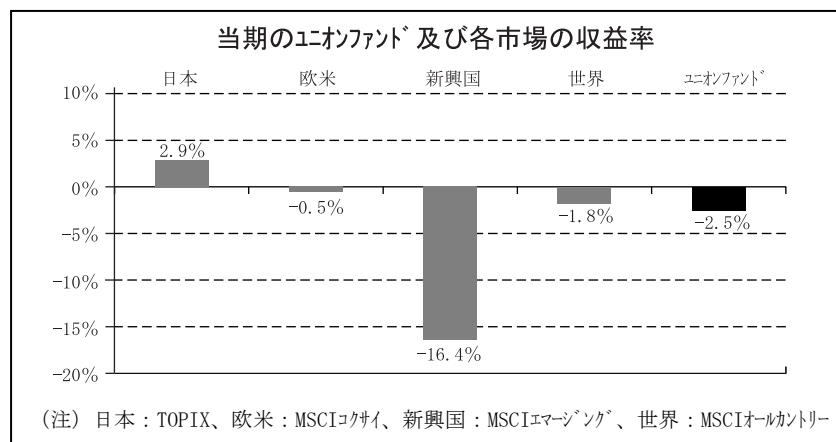
(注) 以下の各収益率は、ユニオンファンドの基準価額への反映時期を考慮して算出しています。

日本市場	(TOPIX)	:	2.9%
欧米市場	(MSCIコクサイ)	:	円ベース △ 0.5%
新興国市場	(MSCIエマージング*)	:	円ベース △16.4%
世界市場	(MSCIオールカントリー)	:	円ベース △ 1.8%
(円ドル相場)		:	9.6%)

期末現在の地域別「組入比率」および「株式時価総額比率」は次のとおりです。

組入比率	:	日本 9%、欧米25%、新興国28%、キャッシュ等38%
キャッシュ等を除いた組入比率	:	日本14%、欧米40%、新興国46%
株式時価総額比率	:	日本 7%、欧米61%、新興国32%

当期の市場別実績では、日本がやや上昇・欧米がやや下落したのに対し、新興国が2桁の大幅下落となりました。これは資源価格下落・中国減速の一方、米国利上げの動きなどから、外国資本が新興国から大量に流出したことが主な要因といえます。



ユニオンファンド

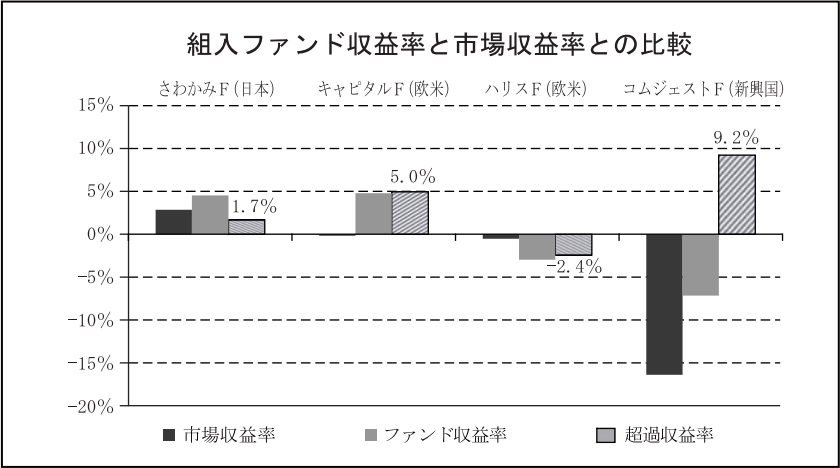
一方、組入ファンドとインデックス（指数）との収益率比較では、新興国市場に特化している「コムジェストF」がインデックスを大きく凌駕し、新興国市場でのマイナス幅をかなり縮めました。

期末現在のファンド別組入比率：

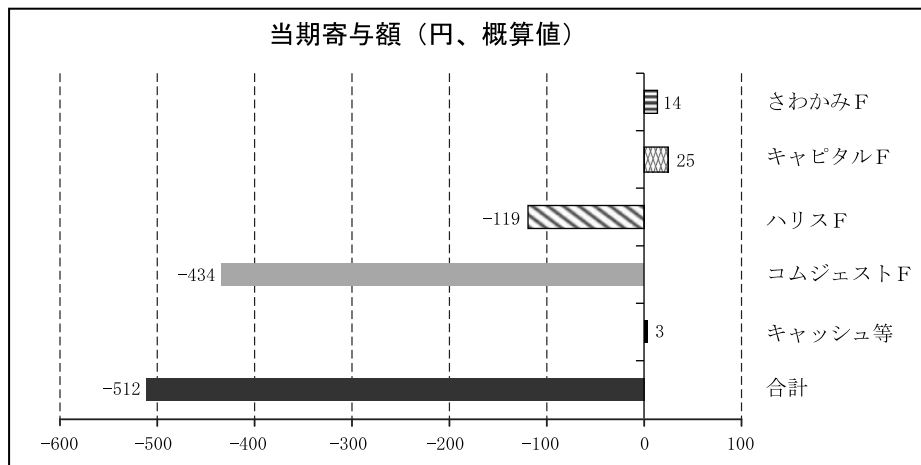
さわかみF 8.7%、キャピタルF 12.0%、ハリスF 12.9%、コムジェストF 28.6%

(注) 当交付運用報告書では、組入ファンドの名称を以下のとおり省略して記載することがあります。

- ・「さわかみファンド」：さわかみF
- ・「キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスA（適格機関投資家限定）」および「キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスZ」：キャピタルF
- ・「ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）」：ハリスF
- ・「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）」：コムジェストF

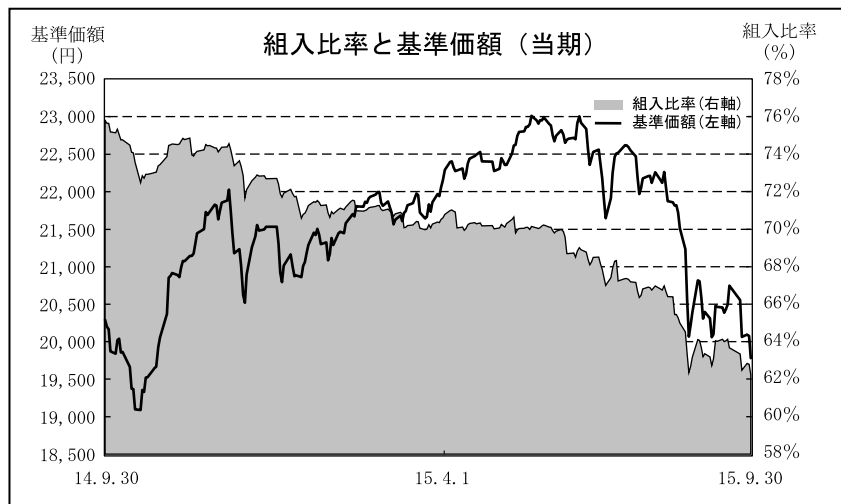


組入ファンド別の当期の基準価額への寄与額は次のグラフのとおりです。



組入比率は当期も低下となりました。

- ・ 期末の組入比率は「62.2%」となり、期初の組入比率「75.8%」に比べ「13.6%」低下しました。
- ・ 2015年8月下旬の株価暴落の前までは、将来の収益に比べ株価が割高になっていると判断し、新規買付の見送りを続けてきました。
- ・ 株価暴落後は株価の割高感が薄まってきたと判断し、徐々に新規買付を行いました。追加設定や基準価額下落により低下傾向が続きました。



【参考情報】

図1 世界の「株式時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」

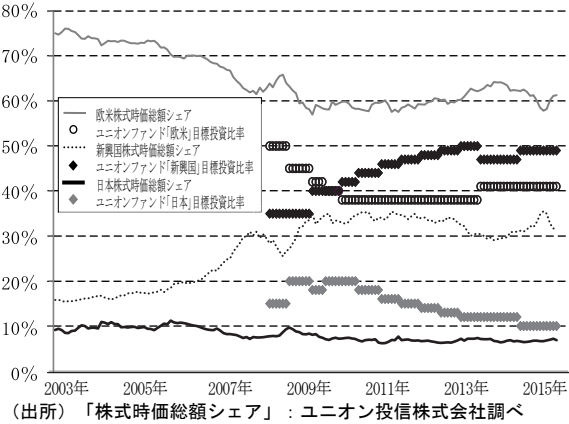


図2 組入ファンドの基準価額推移(2008.10.20=10,000)

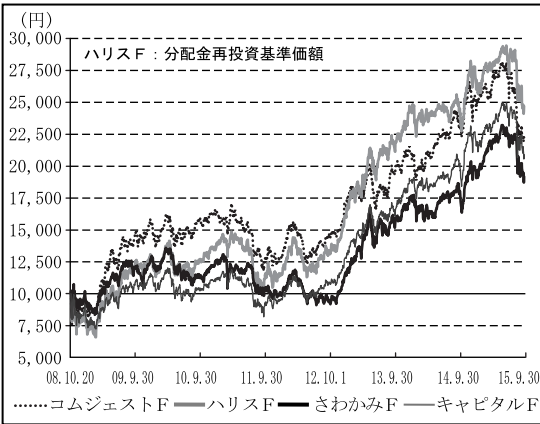


表1 組入ファンドと組入比率(2015年9月30日現在)

ファンド名	地域	組入比率	目標投資比率	目標比
さわかみF	日本	8.7%	10%	△1.3%
キャピタルF	欧米	12.0%	18%	△6.0%
ハリスF	欧米	12.9%	23%	△10.1%
コムジェストF	新興国	28.6%	49%	△20.4%
キャッシュ等	—	37.8%	—	—
合 計		100%	100%	

図3 組入ファンドの「相対パフォーマンス」(インデックスとの比較)(月次ベース)

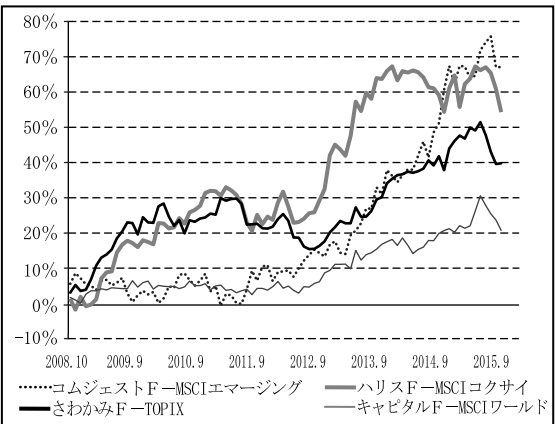


図4 組入ファンドの組入比率推移

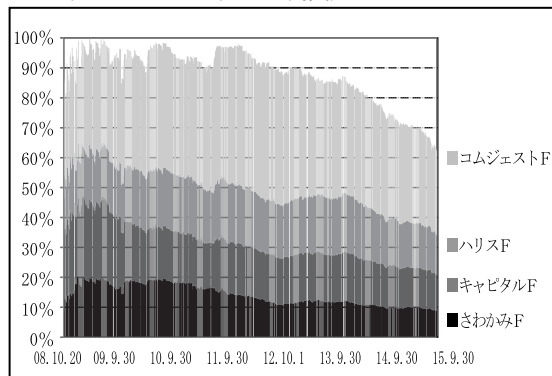


図5 ユニオンファンドの組入比率と基準価額推移

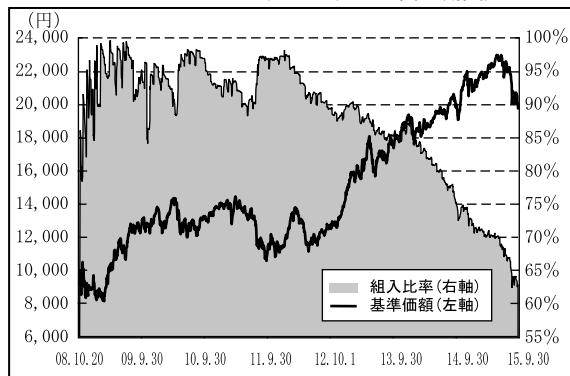
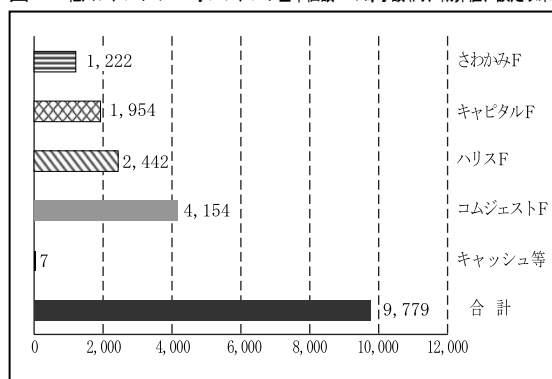


図6 組入ファンドのユニオンファンド基準価額への寄与額(円、概算値、設定以来)



■ベンチマークとの差異

比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数也没有せん。

■分配金

当ファンドの基準価額は、決算日現在で19,779円でしたが、分配を行わないことが今後の安定的な運用につながると判断し、当期は無分配としました。

分配原資の内訳（第7期：2014年10月1日～2015年9月30日）

（1万口当たり、税込み）

項目	当期
当期分配金（円）	0
（対基準価額比率）（％）	—
当期の収益（円）	—
当期の収益以外（円）	—
翌期繰越分配対象額（円）	9,778

（注1）対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益および当期の収益以外は小数点以下切捨てで表示しているため、その合計が当期分配金と一致しないことがあります。

今後の運用方針

次のような方針で臨みます。

- ① 引き続き「グローバル」な視点で投資していきます。
マクロ要因を的確に分析・予測し、世界各地域への投資配分を柔軟に変更・対応していきます。
- ② 当面、現在の組入れ4ファンドに投資していきますが、他の組入候補ファンドにも目配りを行っていきます。
- ③ 組入比率については、引き続き柔軟に対応していきます。

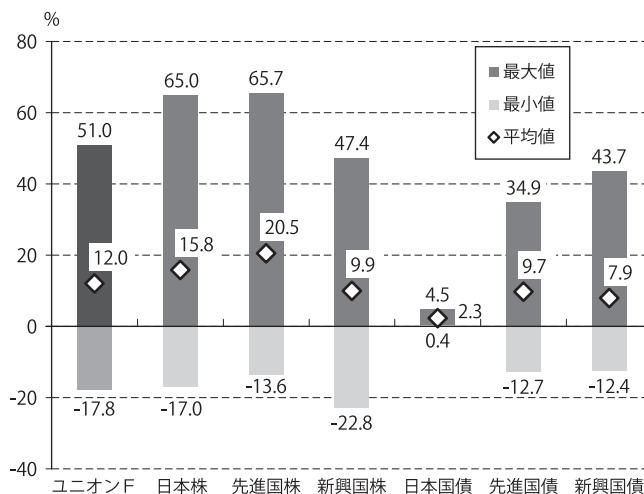
お知らせ

- ◎ 2014年12月1日付で、投資信託及び投資法人に関する法律の改正に伴い、同法第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供することとする信託約款の変更を行いました。
 - ◎ 2015年8月10日付で、当ファンドの投資対象である投資信託証券について、そのクラスを以下のとおり変更することとする信託約款の付表の変更を行いました。
 - 【変更前】 追加型証券投資信託 キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスA（適格機関投資家限定）
 - 【変更後】 追加型証券投資信託 キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスZ
- ※ 変更前後の投資信託証券において、その運用方針、投資対象に変更はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	無期限 (信託約款所定の信託終了事由が生じた場合に償還されることがあります。)
運 用 方 針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資をします。
主 要 投 資 対 象	主として国内外の有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	①株式に特化します。 ・長期投資では「株式」が「債券」を上回るパフォーマンスをあげています。 ・今後も長期的には「株式」の収益率が「債券」の収益率を上回るものと考えます。 ②「グローバル」な視点で投資します。 ・高成長が続く国・企業の株式は高いパフォーマンスをあげることが多いといえます。 ・「グローバル」に投資することで世界の経済成長を享受することができると考えます。 ③運用は「ファンド・オブ・ファンズ」形式で行います。 ・複雑多様なグローバル投資においては、世界の地域ごとに特化した専門性の高い「複数のファンド」に投資する方が良好な収益をあげることができると考えます。 ④実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。 ・長期間にわたりインデックスを上回る「アクティブ」ファンドが、少数ですが世界に点在します。 ・投資に当たっては、「長期投資」の考え方が確立・実践されており、相対的パフォーマンスが良好なファンドを厳選します。 ⑤「バイ＆ホールド」を基本としますが、割高時には現金比率を高め、割安時での買い増しにも備えます。
分 配 方 針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します（分配を行わないことがあります。）。 当ファンドは分配金再投資専用であるため、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。

【参考情報】当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- 2010年10月～2015年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

- 各資産クラスの指数

日本株：TOPIX配当込み指数

先進国株：MSCI Kokusai (World ex Japan) Index

新興国株：MSCI EM (Emerging Markets) Index

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし円ベース）

新興国債：THE GBI EM Global Diversified Composite unhedged JPY index

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ※ 他の代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しています。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。

また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

THE GBI EM Global Diversified Composite unhedged JPY indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

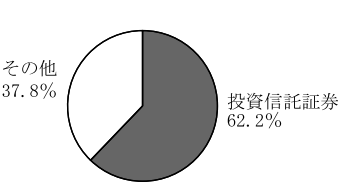
当ファンドのデータ

■組入資産の内容（第7期末：2015年9月30日現在）

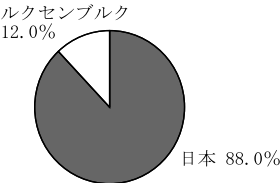
○ 組入ファンド

ファンド名	組入比率（%）
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA	28.6
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007	12.9
キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスZ	12.0
さわかみファンド	8.7

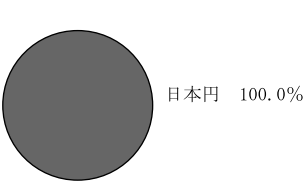
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注1）比率は、当ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数点以下第2位四捨五入で表示しています。
（注2）各組入ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。
（注3）その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。
（注4）国別配分は、組入資産の発行国を表示しています。

■純資産等（第7期末：2015年9月30日現在）

項目	第7期末
純資産総額	3,492,888,038円
受益権総口数	1,765,962,564口
1万口当たり基準価額	19,779円

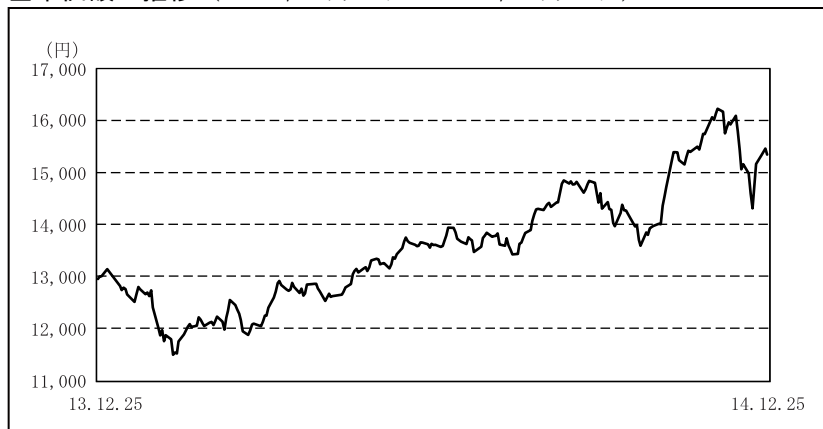
※ 第7期中における追加設定元本額は417,459,191円、同解約元本額は93,620,169円です。

■組入ファンドの概要

※ 各組入ファンドの概要は、当交付運用報告書作成時点において入手可能な直近計算期間に関する情報です。

1 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）》

基準価額の推移（2013年12月25日～2014年12月25日）



1 万口当たりの費用明細 (2013年12月26日～2014年12月25日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	146	1.080	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は、13,556円です。
(委 託 会 社)	(87)	(0.650)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0.322)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.108)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	16	0.119	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(16)	(0.119)	
(c) 有価証券取引税	5	0.034	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(5)	(0.034)	
(d) そ の 他 費 用	29	0.215	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(22)	(0.165)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他 1)	(1)	(0.007)	外国株式に関する各種手数料 (ADR手数料や税務代理人費用等)
(そ の 他 2)	(4)	(0.032)	インド株式におけるキャピタルゲイン課税等
合計	196	1.448	

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。

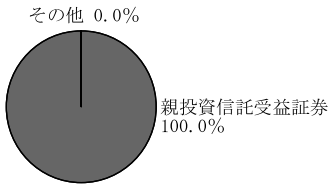
(注4) 比率は、1 万口当たりのそれぞれの費用の金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位四捨五入で表示しています。

組入資産の内容（2014年12月25日現在）

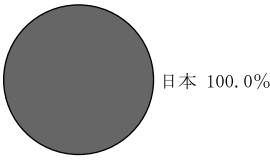
○ 組入銘柄

	種別	銘柄名	国	通貨	組入比率（%）
1	親投資信託 受益証券	ニッポンコムジェスト・エマージング マーケット マザーファンド	日本	日本円	100.0
組入銘柄数			1銘柄		

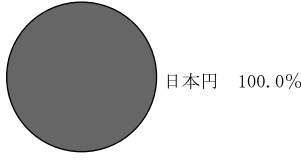
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注1）比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数点以下第2位四捨五入で表示しています。
（注2）その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

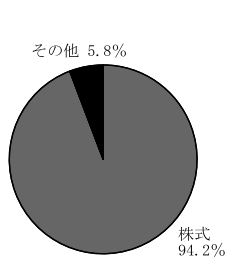
【参考情報】当組入ファンドが投資している親投資信託の組入資産の内容（2014年12月25日現在）

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド

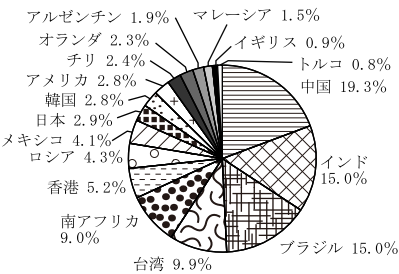
○ 組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	MSCI業種分類	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	米ドル	6.9
2	株式	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	金融	中国	香港ドル	6.4
3	株式	CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	中国	香港ドル	5.1
4	株式	INFOSYS LTD-SP ADR	情報技術	インド	米ドル	4.5
5	株式	MTN GROUP LTD	電気通信サービス	南アフリカ	南アフリカランド	4.4
6	株式	SANLAM LTD	金融	南アフリカ	南アフリカランド	3.5
7	株式	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	公益事業	インド	インドルピー	3.4
8	株式	HUTCHISON WHAMPOA LIMITED	資本財・サービス	香港	香港ドル	3.4
9	株式	NETEASE INC ADR	情報技術	中国	米ドル	3.1
10	株式	MEDIATEK INC	情報技術	台湾	台湾ドル	2.9
組入銘柄数				38銘柄		

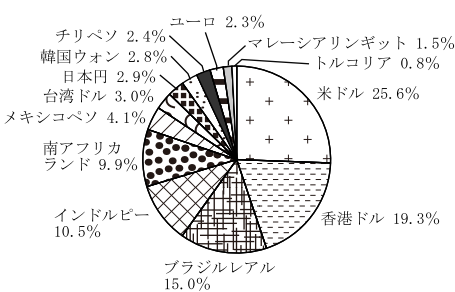
【資産別配分】



【国別配分】



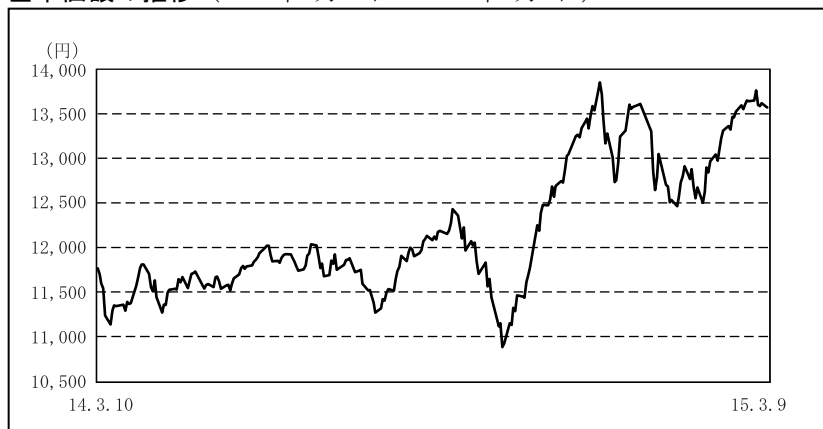
【通貨別配分】



(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合です。
(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。
(注3) 国は、コムジェストSAの判断によります。

2 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）》

基準価額の推移（2014年3月10日～2015年3月9日）



（注）期間末の基準価額は、分配金込みで表示しています。

1 万口当たりの費用明細 (2014年3月11日～2015年3月9日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	172	1.400	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は、12,292円です。
(委 託 会 社)	(132)	(1.078)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.236)	各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(11)	(0.086)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.051	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.051)	
(c) 有価証券取引税	4	0.033	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(4)	(0.033)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.070	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.062)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	191	1.554	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものを含みます。

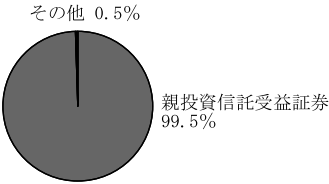
(注4) 比率は、1 万口当たりのそれぞれの費用の金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位四捨五入で表示しています。

組入資産の内容（2015年3月9日現在）

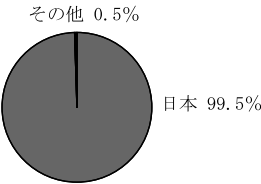
○ 組入銘柄

	種別	銘柄名	国	通貨	組入比率（％）
1	親投資信託 受益証券	ALAMCO ハリス グローバル バリュース株 マザーファンド	日本	日本円	99.5
組入銘柄数			1銘柄		

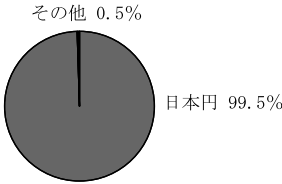
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注1）比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数点以下第2位四捨五入で表示しています。

（注2）その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

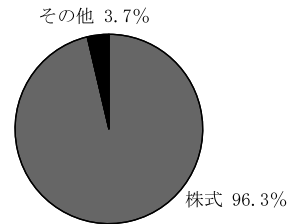
【参考情報】当組入ファンドが投資している親投資信託の組入資産の内容（2015年3月9日現在）

ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド

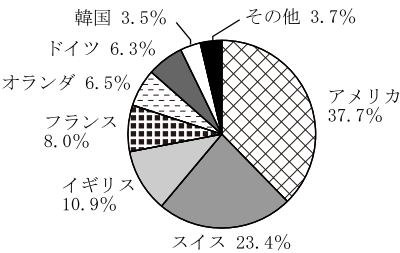
○ 組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	各種金融	スイス	スイスフラン	4.3
2	株式	GENERAL MOTORS CO	自動車・自動車部品	アメリカ	米ドル	4.2
3	株式	GLENCORE XSTRATA PLC	素材	イギリス	英ポンド	4.2
4	株式	INTEL CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ	米ドル	4.0
5	株式	BNP PARIBAS	銀行	フランス	ユーロ	4.0
6	株式	JULIUS BAER GROUP LTD	各種金融	スイス	スイスフラン	3.8
7	株式	WELLS FARGO & CO	銀行	アメリカ	米ドル	3.8
8	株式	CNH INDUSTRIAL NV	資本財	オランダ	ユーロ	3.8
9	株式	CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	耐久消費財・アパレル	スイス	スイスフラン	3.6
10	株式	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	保険	アメリカ	米ドル	3.6
組入銘柄数						36銘柄

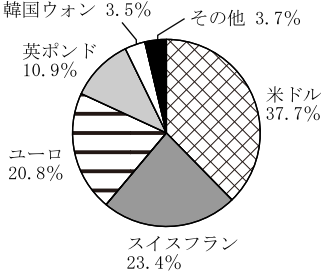
【資産別配分】



【国別配分】



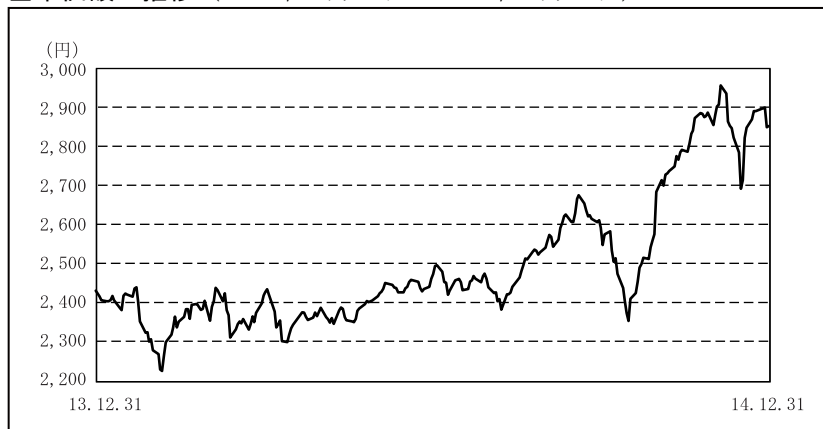
【通貨別配分】



(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合です。
(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

3 《キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスZ》

基準価額の推移（2013年12月31日～2014年12月31日）



1 万口当たりの費用明細（2014年1月1日～2014年12月31日）

情報が取得できないため記載していません。

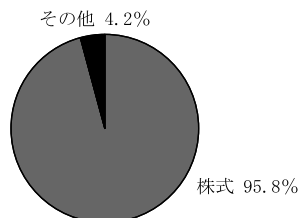
組入資産の内容（2014年12月31日現在）

※以下の組入資産の各内容は、キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）全体のものです。

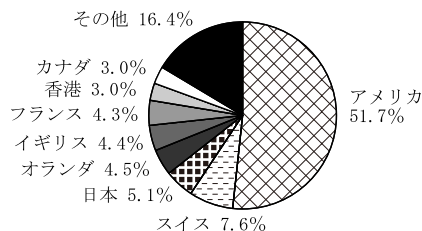
○ 組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	組入比率（%）
1	株式	Goldman Sachs Group	金融	アメリカ	3.0
2	株式	Gilead Sciences	ヘルスケア	アメリカ	2.5
3	株式	Roche Holding	ヘルスケア	スイス	2.4
4	株式	Novo Nordisk Class B	ヘルスケア	デンマーク	2.0
5	株式	Chevron	エネルギー	アメリカ	2.0
6	株式	Pernod Ricard	生活必需品	フランス	1.7
7	株式	ASML Holding	情報技術	オランダ	1.7
8	株式	Incyte	ヘルスケア	アメリカ	1.6
9	株式	Google	情報技術	アメリカ	1.6
10	株式	Unilever	生活必需品	オランダ	1.6
組入銘柄数					162銘柄

【資産別配分】



【国別配分】



（注1）比率は、純資産総額に対する各評価額の割合です。

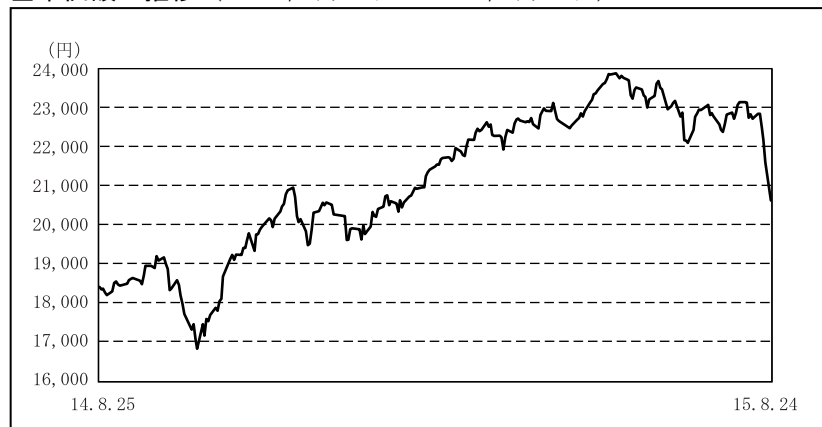
（注2）Roche HoldingとRoche Holding non-registered shares、ASML Holding（EUR）とASML Holding（USD）、Google Class AとGoogle Class Cはそれぞれ1銘柄として組入比率および組入銘柄数を表示しています。

（注3）現金、その他の資産等は、その他に含めて表示しています。

（注4）通貨別配分は、情報が取得できないため記載していません。

4 《さわかみファンド》

基準価額の推移 (2014年8月25日～2015年8月24日)



1 万口当たりの費用明細 (2014年8月26日～2015年8月24日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	228	1.077	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は、21,136円です。
（委託会社）	(125)	(0.592)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(80)	(0.377)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(23)	(0.108)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.012	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.012)	
(c) そ の 他 費 用	2	0.01	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	—	—	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（そ の 他）	(2)	(0.01)	法律顧問に対する費用等
合計	232	1.099	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

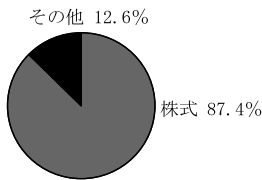
(注3) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位四捨五入で表示しています。

組入資産の内容（2015年8月24日現在）

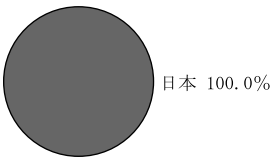
○ 組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種	国	通貨	組入比率（％）
1	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	日本	日本円	4.3
2	株式	ブリヂストン	ゴム製品	日本	日本円	4.2
3	株式	日本電産	電気機器	日本	日本円	3.0
4	株式	花王	化学	日本	日本円	3.0
5	株式	TOTO	ガラス・土石製品	日本	日本円	2.8
6	株式	国際石油開発帝石	鉱業	日本	日本円	2.5
7	株式	三菱重工業	機械	日本	日本円	2.5
8	株式	デンソー	輸送用機器	日本	日本円	2.4
9	株式	日本特殊陶業	ガラス・土石製品	日本	日本円	2.4
10	株式	ダイキン工業	機械	日本	日本円	2.3
組入銘柄数				108銘柄		

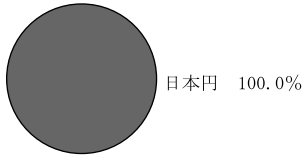
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注1）比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数点以下第2位四捨五入で表示しています。
（注2）その他は、現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。
（注3）国別配分は、組入資産の発行国を表示しています。

【参考情報】直接販売の状況

当期末の全口座件数は、2,650件（前期末比+459名、+20.9%）になりました。

また、「定期定額購入サービス」ご利用のお客様件数は、全体の77.6%にあたる2,057件（前期末比+356件、+20.9%）になりました。

全口座のうち、残高のある口座の比率も、87.5%と引き続き高い水準を保っております。

このように定期定額購入サービスの利用率が極めて高いことが、弊社の特徴であり、強みでもあります。定期定額による購入額も順調に伸びてきており、当期は、ボーナス時期でもある2015年7月が6,000万円を超え、期中の月平均でも5,000万円に迫ってきました。このファンド仲間の皆様からのぶあつい定期定額マネーは、当ファンドの運用に安定感をもたらしてくれます。

資金流入につきましては、8億9,400万円の資金流入（買付）に対して、2億300万円の資金流出（解約）で、6億9,099万円の純流入となりました。株式市場は、米国の利上げ警戒や中国経済の減速などで大きな変動がありましたが、皆様から不安の声は少なく、下げ相場でしっかりとスポット購入される方が増えました。結果、安定した資金流入に支えられ、当期末（2015年9月30日）のユニオンファンドの純資産総額は34億9,288万円（前期末比+5億6,672万円、+19.4%）となりました。

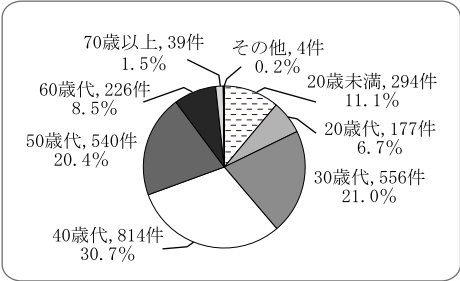
弊社は、働く仲間とその家族の方々の資産づくりのお手伝いをさせて頂くべく設立された資産運用会社です。ファンド仲間の皆様一人一人が、自分らしい人生を過ごすための一助を担うことができるのであれば、これほど幸せなことはありません。

主にセミナーや個別相談等のFace to Faceの活動を中心に「生涯投資」・「グローバル投資」・「積立投資」の有効性や魅力、そして、これからの明るい未来のために、自らの意志で自らのお金を世の中に活かすことの大切さをご説明しており、弊社の経営理念や運用哲学にご賛同いただいたお客様がゆっくりではありますが、着実に増え続けております。

これからも、ユニオンファンドは、ファンド仲間の皆様の“生涯投資の道”の頼もしいパートナーであるべく丁寧に丁寧に運用して参る所存です。

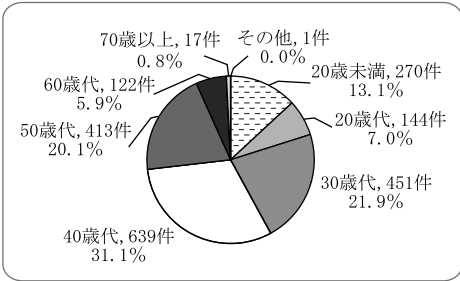
（注）各金額、件数は単位未満切捨てで、比率は小数点以下第2位四捨五入で表示しています。

年代別口座数（2015年9月30日現在）



（注）比率は、全口座数に対する各年代の口座数の割合で、小数点以下第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入利用者数（2015年9月30日現在）



（注）比率は、全利用者数に対する各年代の利用者数の割合で、小数点以下第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入1回当たりの平均引落額（2015年9月30日現在）

年代別引落額平均（月次）（単位：円）			
20歳未満	9,469	50歳代	34,968
20歳代	18,769	60歳代	46,489
30歳代	22,386	70歳代	51,862
40歳代	26,456		

（注）1回当たりの平均引落額は、次の式で算出しています。
（当該年代の毎月の契約金額の合計×12＋当該年代の増額月の契約金額の合計）÷12÷当該年代の利用者数